

取扱説明

お客様へ

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

ご使用に関して

【周囲の影響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビ等の音響、映像機器に雑音が入ることがまれにあります。

●器具のきわめて近くでは、リモコン機器(エアコン等)のリモコンが動作しにくくなることがまれにあります。

※異常を感じた場合は、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。

【ご注意】

●点灯時、消灯後には若干のきしみ音が発生することがありますが、異常ではありません。

●器具に殺虫剤等をかけないでください。変質・変色の原因となります。

警告

LEDを直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。

保証について

1. 保証について

この商品の保証期間は3年です。但し、消耗品は除きます。

詳細は弊社カタログをご参照ください。

※保証期間の例外

24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。

2. 保証書について

保証書が必要な場合は、下記「CSセンター」までお申し出ください。

3. 補修用性能部品の保有期間

弊社は照明器具の補修用性能部品を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。

補修用性能部品(同等の機能を有する代替品含む)とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

点検とお手入れ方法

1. 明るく安全に使用するために6ヵ月に1回程度、点検および清掃を行うことをおすすめします。

(1)点検項目

・LEDが切れていませんか。

・正常に点灯しますか。

・天井との取付部、各部品の合わせ目に異常なガタツキ、ゆるみはありませんか。

・異常な臭い、音、発熱はありませんか。

・カバー(セード)等にひび、割れ、変形等が発生していませんか。

(2)清掃(安全のため、電源を切ってから行ってください。)

器具のお手入れは柔らかい布で軽く拭いてください。

・汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を含ませた布をよく絞って拭き、洗剤が残らないように水を含ませた布で2度拭きした後、乾いた柔らかい布で仕上げてください。

・シンナー、ペンジン等の揮発性のものは使用しないでください。

2. 異常時の処置

異常を感じた場合は、速やかに電源を切って、販売店、工事店、または弊社「CSセンター」までお申し出ください。(部品等の取り替えは勝手にしないでください。)

商品についてのご相談は

CSセンター(0570) 003-937(ナビダイヤル 全国共通)へご連絡ください。

受付時間(月～金曜)9：00～17：00 土・日・祝日、夏季、年末年始休業日は受付していません。

DAIKO

大光電機株式会社

施工・取扱説明書

保管用

品番

DDL-8049YW・DDL-8049YB

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お客様へ

●ご使用の前に安全上のご注意と取扱説明をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。

●施工には電気工事士の資格が必要です。必ず販売店・工事店にご依頼ください。

●本説明書は大切に保管してください。

工事店様へ

●施工前に安全上のご注意と施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

安全上のご注意

必ずお守りください。

警告

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容」を示します。

注意

この表示は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか物的損害の発生が想定される内容」を示します。

警告

この器具は棚下・天井取付兼用(埋込式)です。指定場所以外には取付けしないでください。火災・落下の原因となります。

床面

壁面

傾斜天井

補強のないロックウール等のやわらかい天井

断熱材・防音材をかぶせた状態で使用しないでください。過熱して火災の原因となります。

断熱材施工不可

住宅の断熱施工天井ではご使用できません。

住宅以外の断熱施工天井でご使用の場合の施工方法

断熱材・防音材の上部は最低20cmの空間が必要です。

20cm以上

10cm以上

10cm以上

10cm以上

断熱材

断熱材・防音材で本体の放熱孔をふさがないでください。

屋内配線は断熱材・防音材の上側にくるようにしてください。

器具から断熱材・防音材の距離を10cm以上離してください。

器具本体表示または本説明書に従って施工してください。施工に不備があると、火災・感電・落下の原因となります。

水ぬれ禁止

この器具は非防水です。湿気の多い場所や屋外では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

禁止

周囲温度－5～35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。

器具に荷重をかけたり、布や紙等の可燃物で覆わないでください。器具の真下にストーブ等の温度の高くなるものを置かないでください。火災・感電・落下の原因となります。

屋内配線の電源・ケーブル等が本体に接触しないように施工してください。施工に不備があると、火災・感電の原因となります。

分解禁止

器具の改造、部品の変更は行わないでください。火災・感電・落下等の原因となります。

厳守

器具の真下0.1m以内に家具等の可燃物を近づけないでください。照射物の変色・火災のおそれがあります。

照射物

近接限度

0.1m

照射物

(家具・ドア・布等の可燃物)

調光器との併用はできません。火災の原因となります。調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換が必要です。

煙・臭い等の異常を感じたら、すぐに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。異常がおさまったことを確認したのち、工事店、お買い上げの販売店、または弊社「CSセンター」にご相談ください。

注意

電気工事が必要な場合は、電気設備の技術基準に従って有資格者が行ってください。一般の方の工事は法律で禁止されています。

厳守

●照明器具には寿命があります。

設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換してください。

※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。

周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。

●3年に1回は、工事店等の専門家による点検をお受けください。

点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電等に至るおそれがあります。

大光電機株式会社 〒541-0043 大阪市中央区高麗橋3-2-7 高麗橋ビル6F

LD02-8049YW-B

1

- 施工前に施工説明をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 本説明書は必ずお客様にお渡しください。

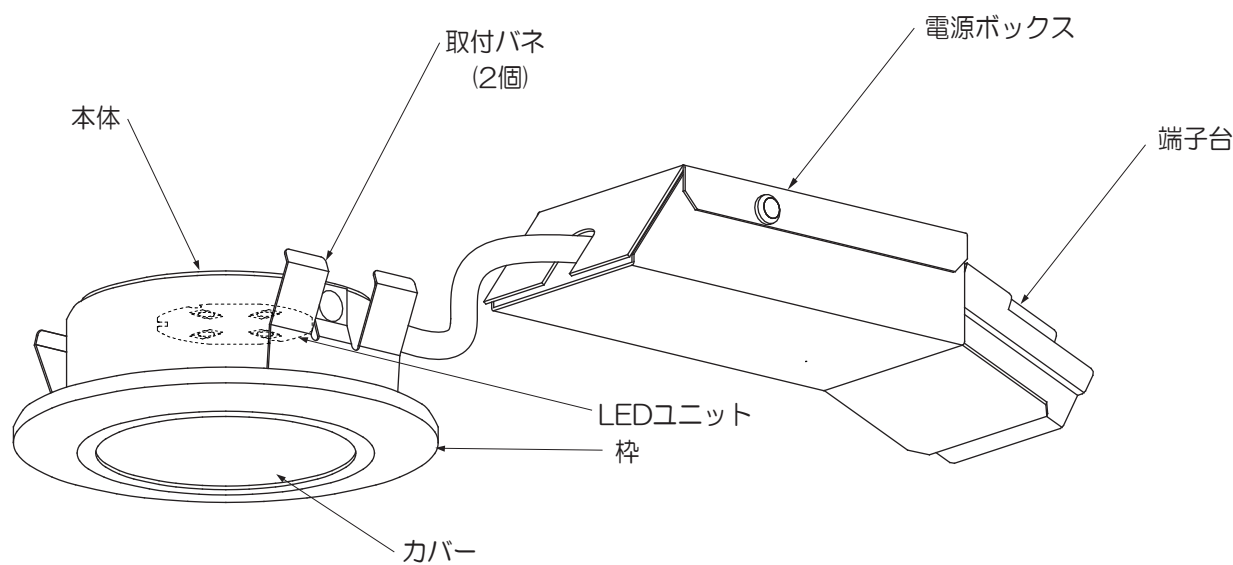
仕様

- 屋内専用
 - 棚下・天井取付兼用(埋込式)
 - M形
 - バネ取付方式
- 異常温度防止機能付
 - 調光不可
 - LEDユニットは交換不可

品番	DDL-8049YW・DDL-8049YB	
配光	1/2照度角 60°	
定格電圧	交流 100V	
周波数	50/60Hz兼用	
消費電力	3.7W	
入力電流	0.07A	
LEDユニット	演色性 Ra83 電球色 (2700K)	
	LED光源寿命：40,000時間	
器具重量	約0.3Kg	
電源接続	端子台(送り容量最大20A)	

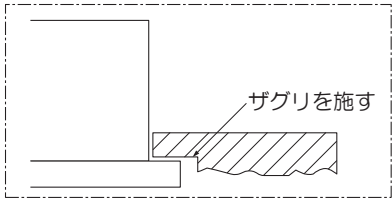
各部の名称

※下図は、簡略した図です。



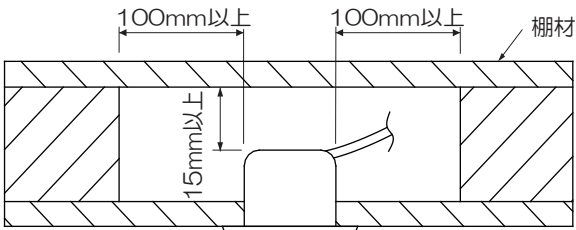
① 取付け前の注意事項について

- 以下の天井に取付ける場合は、器具の取付バネと天井の間に必ず補強材(鉄板、木片等)を入れてください。
 - ・ロックウール等のやわらかい天井
 - ・珪酸カルシウム板の天井
 - 取付面が充分乾燥してから器具を取付けてください。乾燥が不十分だと器具のメッキ部や塗装部が侵されたり、絶縁不良の原因となります。
- 表面に1mm以上の凹凸がある天井はザグリをし、平らにしてください。そのまま取付けると、光モレ・気密性の低下の原因となります。



② 施工条件を確認する

- 棚下取付けの場合、右図の施工寸法以上離してください。

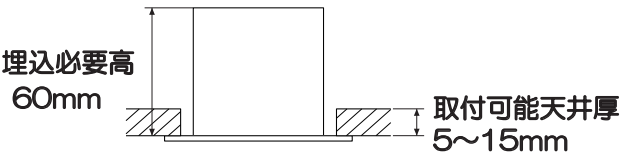


⚠ 警告

右記、条件を守って器具を取付けてください。棚の上は温度が高くなりますので変色・変質の原因となります。

③ 天井面を確認する

- 埋込穴と埋込必要高、取付可能天井厚を確認してください。

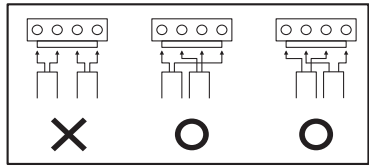


⚠ 警告

指定寸法以外の天井には取付けないでください。落下の原因となります。

④ 電源線を接続する(作業前、必ず電源を切る)

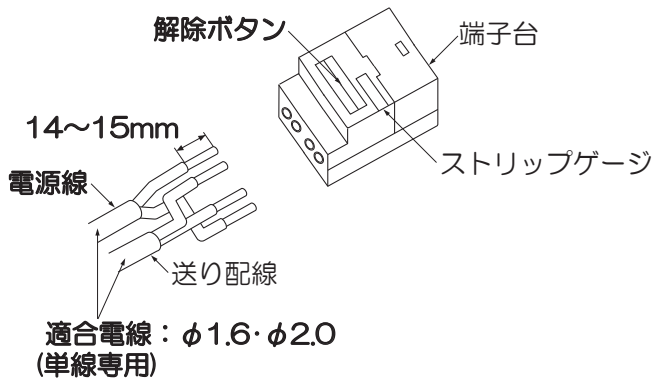
- 電源線を端子台に適切、確実に差し込んでください。



⚠ 警告

適合電線を使用し、確実に接続してください。接続が不完全な場合、火災の原因となります。

定格以外の電圧では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

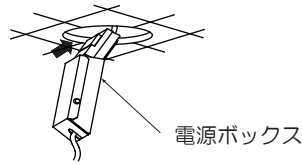


<電源線を取外す場合>

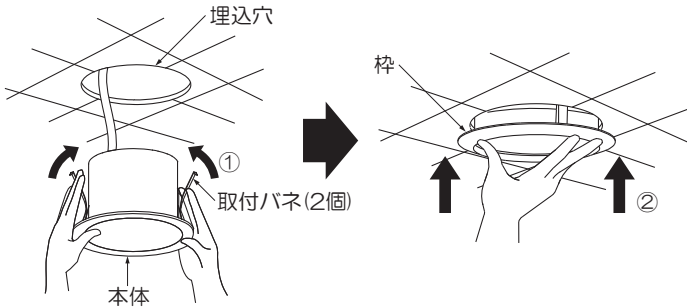
- ドライバー等で解除ボタンを押しながら、電源線を引き抜いてください。

⑤ 本体を取付ける

- 埋込穴に電源ボックスを端子台側から押し込んでください。
- 電源ボックスは横転・逆転しないように施工してください。



①②取付バネ(2本)を両手でせばめながら、埋込穴に本体を挿入して押し上げてください。



⚠ 警告

取付けが不完全な場合、落下の原因となります。
器具が天井の造営材・ダクト等の設備に触れないようにしてください。火災・感電の原因となります。

<本体を取外す場合>

- 枠をゆっくり引き下げ、取付バネ(2本)を両手でせばめながら取外してください。